

# Winds Dome 336 DX

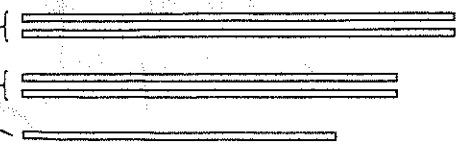
この度はウィンドーム336DXをお買い上げいただき誠に有難うございました。  
 テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。  
 また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

## 設営手順

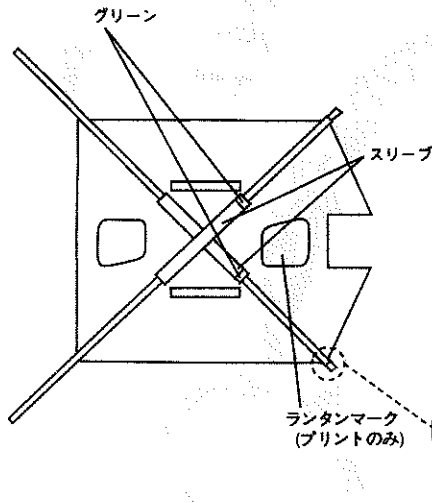
### 1 セット内容の確認

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- 本体 1張
- フライシート 1張
- 本体用メインポール (長、ブラック) 2本
- 本体用サポートポール (中、グレー) 2本
- フライ用リッジポール (短、グレー) 1本
- 自在ロープ 4本
- ペグ 18ヶ
- ハンマー 1ヶ
- ウエルカムマット 1枚



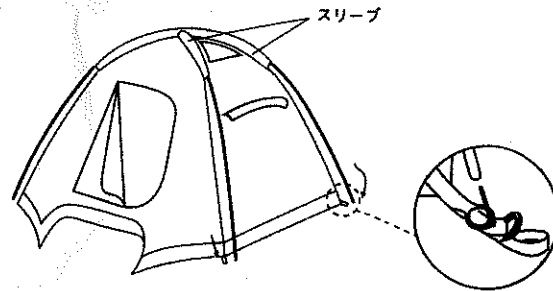
### 2 本体にメインポールをセットする。



- ①本体を広げ、メインポール2本を図のように各スリーブに通して下さい。  
 ※端にグリーンが目印があるスリーブがメインポール用です。
- ②各ポール的一端をコーナーのエンドピンにセットして下さい。(グリーンテープのエンドピンがメインポール用です。)  
 ※指を挟まないようにご注意ください。

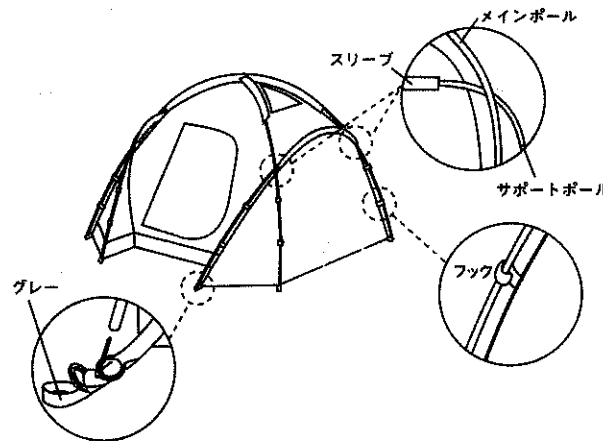
**△注意**  
 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んで下さい。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

### 3 本体を立ち上げる。



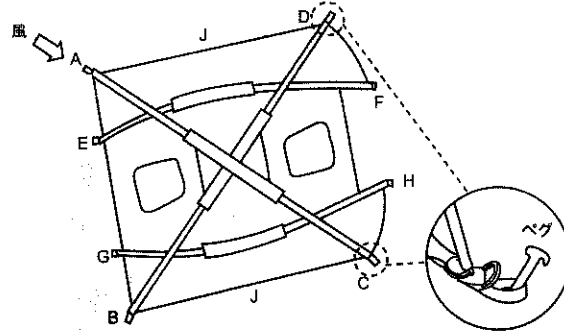
- ①必ずあらかじめ出入口のファスナーを開けて下さい。
- ②2本のメインポールを持ち上げ、スリーブを手で手前に引っ張りながらポールを押し込んで下さい。  
 手前のメインポールの端をエンドピンにセットして下さい。  
 ※メインポールがスリーブの両端に出ない状態でポールをエンドピンにセットするとポールが折れる恐れがあります。またポールの跳ね返りにご注意ください。

### 4 本体横にサポートポールをセットする。



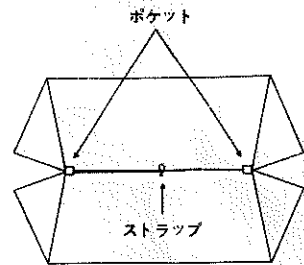
- ①サポートポールを本体横のスリーブに通して下さい。  
 ※端にベージュの目印があるスリーブがサポートポール用です。  
 ※サポートポールは図のように、メインポールの下をくぐらせて交差させます。
- ②メインポールと同様に、テント横(ドアサイド)のエンドピンにポールの端をセットして下さい。(グレーのテープのエンドピンがサポートポール用です)
- ③本体に付いているフックを各ポールに掛けて固定して下さい。
- ④ウエルカムマットの四隅のフックをフロントドア下部のコーナーDリングに掛けます。(必ず本体をベグにて固定する前にウエルカムマットを付けて下さい。)

### 5 設営位置を決めテントを固定する。



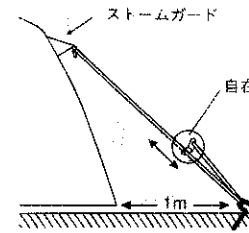
- ①図のように四隅のループを風上より順に対角線にベグを打ち、本体を固定して下さい。(順ACBD)
- ②その後、本体横(ドア両サイド)のループも同様にベグを打ち、固定して下さい。(EGFH)  
 ※入口は風下に向けることと風の影響を受けにくくなるので、全体の(テント、タープ等)レイアウトをあらかじめ決めてから、テントを固定して下さい。

## 6 フライシートにリッジポールをセットする。



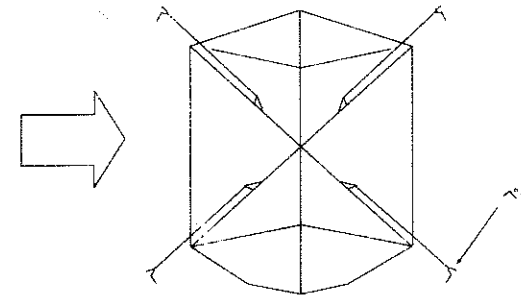
リッジポールをフライシートの内側の2ヶ所のポケットにセットし、中央のストラップを結んで固定します。

## 8 ストームガードシステムの活用

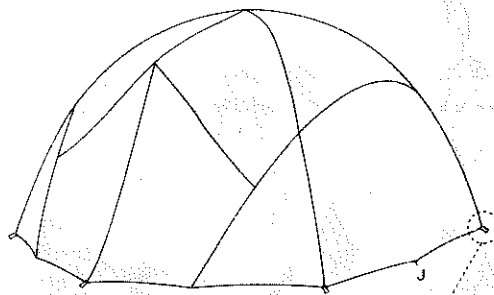


※大きなテントはその構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。ストームガードを必ずご活用下さい。

フライシートのサイドに付いているループ(4箇所)にロープを結びテントから1M程離れた所でペグ打ちをして下さい。  
ロープを掛け、自在を締め調節して下さい。



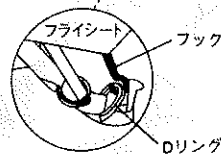
## 7 フライシートを本体に固定する。



①フライシートを図のように本体にかぶせ、フライシートのフックを本体のループに付いているDリングに引っ掛けて固定します。(フライシートは前後対称ですので、どちらからでも掛けられます)

②フライシートの内側に付いているマジックテープでメインポールに固定します。

③フライシートの裾J部分のループをペグ打ちします。(反対側も同様)  
※Jの部分が出来ただけ本体と離してペグ打ちをして下さい。



### △ 取扱上の注意

●テント内での火気の使用は危険ですのでお避けください。また炎から離れたところに設置してください。●テント内と外の気温差が高い時、テント内に水蒸気が生じることがありますが(結露)これは水漏れではありません。窓をあけるなど換気を行なうことで軽減できます。●台風 暴風雨の際は危険ですのでテントの使用はお避けください。

### △ 収納・保管の注意

●ご使用後は汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態ですと色うつりする場合があります。●生地の変色などは市販のリペアーキットで補修が可能ですが、パーツ交換や本格的な修理が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

COLEMAN JAPAN Co.,Ltd.